

日本庭園ってどんなもの?

自然との触れ合いから生まれました

豊 かな自然や、四季の移ろいの中で暮らす日本人。その感性を生かし、造り上げてきたのが日本庭園です。身近な自然を取り入れ、その良さを凝縮し再現しています。池を造って海原に見立てたり、築山（庭園に築いた人工的な山）に苔を生やして野山の風景に見せたり、大小の石組みで切り立つ山岳を表したりします。



彦根城天守を望む



日本庭園へ行こう!

お庭の楽しみ方 超入門

余が案内するゾ!



ゆったりとした空気が流れる日本庭園で、
新緑の美を愛でながら
お散歩しませんか?
5月の風の中、
すてきな時間が流れます……。

コラム 日本庭園とフランス式庭園の違い

西洋庭園の様式の一つであるフランス式庭園は、ベルサイユ宮殿の庭園のように直線を多用した左右対称のデザインで、人工的で秩序ある美を演出しています。日本庭園はその逆で、曲線による造形と左右非対称が特徴。自然を模し、季節によって移ろう自然の美を表します。



ベルサイユ宮殿の庭園

【浄土式庭園】

理想の極楽テーマパーク!

浄土式庭園は、阿弥陀信仰の極楽浄土をイメージしたものです。平安後期に流行した末法思想とともに発達しました。平安貴族の寝殿造りの屋敷の庭が変化し、池は極楽浄土の蓮池に、中島に渡された橋は極楽浄土へ渡る橋を意味するようになりました。

池や中島、橋、阿弥陀堂(阿弥陀如来像を安置する建物)で構成



白砂に施された紋様「砂紋」で水の表情を表現

築山



石組み

砂紋

【枯山水庭園】

立体水墨画!

枯山水の庭では水を一切使わず、石と砂と植栽のみを使って禅の境地を表します。一面に敷かれた白砂で海原を表し、石組みで山や島、生物などを表現。自然を象徴的に表現した枯山水は、見る人によって自由に解釈でき、それぞれの心を映し出す庭といわれています。



コラム 露地は非日常への入り口

露地とは茶室に至る簡素な茶庭のこと。安土桃山時代、茶の湯の発展とともにわびた風情の新たな庭園デザインとして出現。庶民層にも広がりました。露地の門を通った客は、山中を模した庭の中を飛び石や延段(石張りの通路)を伝って茶室へ導かれます。茶室に入る前に雑念を払い、心を穏やかにする空間です。手を清め、口をすすぐための手水鉢の配置も露地の特徴です。

日本庭園の種類は?

大きく分けて「池泉」「浄土」「枯山水」

日本庭園にはさまざまな様式がありますが、各様式とも水を効果的に扱うのが特徴です。大きな池を中心にして自然の景観を取り込んだ庭園が「池泉回遊式庭園」。平安時代の貴族の庭園、江戸時代の大名庭園に多く見られます。平安時代中ごろから仏教の影響を受け、蓮池で浄土思想を表したのが「浄土式庭園」で、宇治の平等院に代表されます。室町時代の禅宗寺院で生まれたのが、水を使わずに水を表す「枯山水庭園」。思索の空間として海外でも有名です。

池の中の築山や石を島に見立てる



中島

橋

水際の石組みは、荒磯の見立て

【池泉回遊式庭園】

殿のウォーキングコース!

大きな池の周りを歩いて鑑賞する庭園です。池に橋を架け、中島や築山、石組み、雑木林などを配置。高低差もつくられ、周遊するに従い変化する景色を楽しめます。春の梅や桜、初夏のツツジ、秋の紅葉、冬は冬枯れなど、時季の植栽にも味わいがあります。

🌿 日本庭園へ行こう!

木にも表と裏があるゾ
最も美しく見える表側を探そう!



植栽

を楽しむ



庭にはさまざまな樹木や草花が植えられています。季節の花々や紅葉を目当てにするのもいいですが、よく手入れされた松の姿形を鑑賞するのもおすすめ。樹形や枝ぶり、幹模様を愛でましょう。

松の形と石組みとの調和が美しい

池の中にある石も鑑賞しよう



石

を楽しむ

大小の石を組んだ石組みは、庭に立体感と奥行きを演出します。特に、池の護岸のための石組みは水辺にアクセントを与え、水面に映り込みます。

石の上に鳥や亀がいることもあります

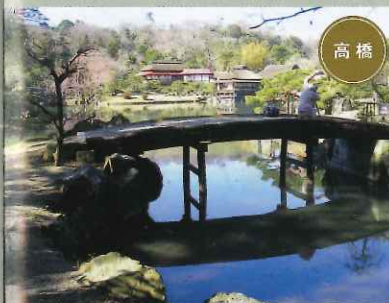


実際に行ってみよう!

井伊家の大名庭園「玄宮園」を歩いてみよう

江戸時代、槻御殿と呼ばれた彦根藩の下屋敷の庭園が玄宮園(屋敷部分は楽々園)です。井伊家代々が散策を楽しんだ大名庭園の玄宮園で、池泉回遊式庭園の回り方を見てください。

橋の上からも庭を眺めてみよう



水

を楽しむ

日本の庭園文化は池泉から始まったんだよ



生命の源であり、全てのものを洗い清める水は、庭に潤いをもたらします。池の中島や入江に架かる橋があれば、足を止めて橋の姿を眺めたり、橋のある水辺の風景を鑑賞しましょう。

建物

を楽しむ



臨池閣

池の端に建つ建物群もまた、庭と調和するように造られています。玄宮園では池に突き出すように臨池閣があり、その奥の築山に鳳翔台があります。鳳翔台は彦根藩の賓客をもてなす客殿でした。

鳳翔台では現在も抹茶を楽しめますゾ!



鳳翔台

教えてくれた方



彦根城管理事務所
川口大輔さん

徳川家康の命により彦根城築城を開始した慶長9(1604)年は、まだ戦乱の世。玄宮園・楽々園の辺りは、大坂方との決戦に備えて城を防御するための場所でした。庭園ができたのは泰平の世になってからです。玄宮園・楽々園も彦根城天守と同様に、歴史と伝統を踏まえた補修・管理を行っています。歴史的遺産の庭でのひとときをお楽しみください。



彦根藩主の住居があった楽々園の御書院

●玄宮園(楽々園)の利用案内

滋賀県彦根市金亀町3 ☎(0749)22-2742

🎫彦根城とセットの場合: 一般1,000円 / 小・中学生300円

玄宮園のみの観覧: 一般200円 / 小・中学生100円

🕒 8:30~17:00 (入場は16:30まで) 📅 無休

🌐 <http://hikone-410th.com>

国宝・彦根城築城410年祭
平成29年3月18日(土)~12月10日(日)



築城410年祭



彦根城の天守が庭の一部のようじゃ

借景

を楽しむ



庭園外にある山などを背景として取り入れ、奥行きを演出するのが借景です。玄宮園では彦根城天守が借景に。江戸時代の姿をとどめる天守と一体になることで、庭の美しさに歴史の深みが加わります。



三重県 **北畠氏館跡庭園**

神社にある武将の庭

室町末期の武将の細川高国の作と伝わる池泉鑑賞式の武家書院庭園。素朴で豪放な武将の庭です。

津市美杉町上多気1148 北畠神社 ☎(059)275-0615

料 大人:300円、高・大学生:200円 ☎ 8:30~17:00 休 年中無休

岐阜県 **愚溪寺庭園**

美しい白砂の枯山水庭園

臥竜形(伏せて横たわる竜の形)石庭で、現在は3つの石と松が配されています。京都の龍安寺の石庭の原形といわれています。



可児郡御嵩町中2635-1 愚溪寺 ☎(0574)67-0123

料 無料



静岡県 **摩訶耶寺庭園**

幽玄な、池や石組みで造られた庭

平安末期から鎌倉初期の中世庭園を代表する座視鑑賞式(座って鑑賞するための庭)兼回遊式庭園。当時の8割の姿を残しているとのこと。

浜松市北区三ヶ日町摩訶耶421 摩訶耶寺 ☎(053)525-0027

料 大人:400円、高校生:300円、中学生:200円 ☎ 9:00~16:30 休 8月10日(お盆行事)、臨時休あり



愛知県 **徳川園**

尾張徳川家の荘厳な庭園

池泉回遊式の尾張徳川家跡地にある大名庭園。清流が滝から渓谷を下り、海に見立てた池へと流れるありさまを模しています。



名古屋市東区徳川町1001 ☎(052)935-8988

料 一般(高校生以上):300円、名古屋市内在住の65歳以上の高齢者:100円(敬老手帳を提示)

☎ 9:30~17:30(入場は17:00まで) ※催事等により時間変更・開園する場合あり

休 月曜日(祝日の場合はその直後の平日)



愛知県 **揚輝荘**

伊藤家別荘の庭

松坂屋の初代社長伊藤次郎左衛門祐民がつくった別荘の庭。池泉回遊式庭園のある北園を無料で公開しています。

名古屋市千種区法王町2-5-17 ☎(052)759-4450

料 北園は無料で公開。南園の聴松閣は有料で、一般(高校生以上):300円、

名古屋市内在住の65歳以上の高齢者:100円(敬老手帳を提示)

☎ 9:30~16:30 休 月曜日(祝日の場合はその直後の平日)